

# 紺野美沙子の朗読座

K O N N O M I S A K O



## 『スーホの白い馬』

モンゴル民話

朗 読：紺野美沙子  
馬頭琴：セーンジャー



## 『さがりばな』

原作・写真：横塚眞己人  
脚本：緒形圭子

朗 読：紺野美沙子  
ピアノ：中村由利子

「聴く」サプリメントを朗読からどうぞ  
女優紺野美沙子が、さまざまジャンルのアーティストとの共演で、  
2010年より公演を重ねている「朗読座」。  
兵庫初登場となる今回は、『スーホの白い馬』と『さがりばな』の2作品を上演。  
朗読×音楽×映像が織りなすやわらかな空間に、たづふりと身を浸してください。

2013年 1月27日(日) 3:00pm開演  
(2:30pm開場)

3,000円(全席指定・税込)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 (10:00am-5:00pm 月曜休み ※祝日の場合翌日) ※プレイガイドでのお取り扱いについては各プレイガイドにお問合せください。

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口西側/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売

インターネット予約

- 芸術文化センター <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- イープラス <http://eplus.jp>
- チケットぴあ <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット <http://l-tike.com>

電話予約

- 芸術文化センターチケットオフィス [0798-68-0255](tel:0798-68-0255) 芸術文化センター会員電話予約受付開始 10月13日 ☎
- チケットぴあ [0570-02-9999](tel:0570-02-9999) [Pコード: 422-697]
- ローソンチケット [0570-000-407](tel:0570-000-407) (オペレーター対応) [0570-084-005](tel:0570-084-005) [Lコード: 56564]

直接購入 芸術文化センター2階総合カウンター【10月16日(火)より ※残席がある場合のみ】、ローソン、サンクス、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルK

※未就学児童はご入場いただけません。※やむを得ない事情により出演者等が変更となる場合があります。予めご了承ください。主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 企画・製作/朗読座

女優として映像・舞台上、また国際協力活動の場でも活躍を続ける紺野美沙子。

その声と馬頭琴やピアノの共演で描く2つの物語

—絵本や教科書でお馴染の『スーホの白い馬』<sup>よこつが まこと</sup>と横塚真己人の写真絵本による『さがりばな』—は、わたしたちが日常でなくしかけている、いろいろな気持ちを思い出させてくれることでしょう。どうぞ、かけがえのないひとときをお過ごしください。

## 紺野 美沙子 (こんの みさこ)

俳優、国連開発計画 (UNDP) 親善大使。東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。

1980年、NHK連続テレビ小説「虹を織る」のヒロイン役で人気を博す。「武田信玄」「あすか」など多数のドラマに出演。舞台「細雪」(原作・谷崎潤一郎)では三女・雪子役を好演。他に、「オトトと呼ばれる日本人」(作:木下順二)、「きんぎょの夢」(原作:向田邦子)、「現代能楽集イプセン」(作:坂手洋二)など、硬軟を問わず意欲的に取り組む。テレビ・映画・舞台上に活躍する一方、98年、国連開発計画親善大使の任命を受け、アジア・アフリカの各国を視察するなど、国際協力の分野でも活動中。近著に、親善大使として訪れた国や人々について綴った「ラララ親善大使」(小学館刊)がある。

2010年秋から「紺野美沙子の朗読座」を主宰。音楽や影絵や映像など、様々なジャンルのアートと朗読を組み合わせたパフォーマンスや、ドラマリーディングを定期的に続けている。12年は、7月に「日本の面影」(作:山田太一)に出演し、9月には朗読座公演「セクスイ音楽×朗読劇一男と女一」(作:浅野妙子)を上演する。



## セーンジャー (賽音吉雅)

馬頭琴奏者。「スーホの白い馬」の民話発祥の地である内モンゴル・ホルチン草原生まれ。1999年、内モンゴル芸術学院卒業。2000年、来日。05年、大東文化大学大学院修了。03年に1st CD「Dream」を発表し、NHKラジオで放送される。以降数作のCDを発表。「恋情」(09年)発表後、内モンゴル衛星で自身の番組枠を持つなど、メディアから高い注目を受けたほか、「music.jp」にて1万2千ダウンロード(11年時点)を突破した。



04年、07年、中国内モンゴル年末「紅白歌合戦」出演。05年、主演・音楽監督担当のDVD「スーホと白い馬」が文部科学省選定作品に選定される。07年、角川映画「蒼き狼 地果て海尽きるまで」において音楽の馬頭琴を担当、モンゴルロケに参加。08、北京オリンピック ギネス世界記録イベントにおいて、馬頭琴を演奏。09年、映画「草原のお母さん」で演奏。10年、「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展」に参加。おほかで優しく、それでいて力強い人柄と演奏は、モンゴルの大草原とそこに吹く風を感じさせてくれる。

## 中村 由利子 (なかむら ゆりこ)

作曲家、ピアニスト。横浜生まれ。フェリス女学院短期大学音楽科ピアノ科卒業。1987年デビュー。デビューアルバム「風の鏡」がベストセラーを記録して以降、30枚以上のアルバムをリリース。映画「1999年の夏休み」(88年)、「メサイア」(11年)や、宮崎駿監督短編アニメーション「星をかった日」(2006年〜三鷹の森ジブリ美術館で上映)の音楽等を手がけ、高く評価される。東日本大震災後に作曲した「えがおの日まで」は、TBS「サンデーモーニング」のコーナー「考・震災」のテーマ曲として使用された。コンサート活動も様々な共演者とともに積極的に行い、話題を集めている。韓国でも人気が高く、多数のCDリリース、コンサート活動のほか、日本人音楽家として初めて韓国ドラマ(「ごめん、愛してる」など)の音楽を担当。日韓共同制作アニメ「冬のソナタ」にも楽曲を提供した。類稀なメロディーセンス、包み込むようなピアノタッチで、独自の世界を輝かしく放ち続けている。



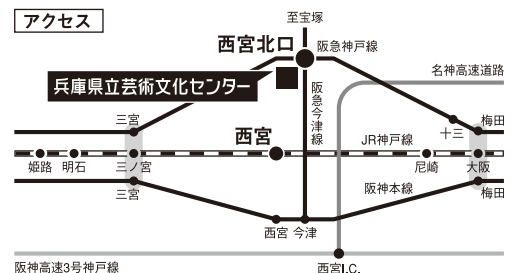
## 『スーホの白い馬』

ある日、少年スーホは帰り道で倒れていた白い子馬を拾い、大切に育てました。数年後、領主が自分の娘の結婚相手を探すため競馬大会を開き、スーホは立派に成長した白い馬で、競馬大会に優勝。しかし、領主は貧しいスーホを娘とは結婚させず、スーホに銀貨を渡し、さらに白い馬を自分に渡すよう命令する。その命令を拒否したスーホは白い馬を奪われ…。

## 『さがりばな』

サガリバナのサラは、花を咲かせる夏を心待ちにしていました。しかし、ある日森の長老から、サガリバナは半日だけ、それも真夜中にしか花をつけていられないと教えられます。梅雨が明け、開花したサラに、木に宿る精霊の声が聞こえてきました…。

### アクセス



◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。